

飲酒運転根絶宣言

株式会社マザー牧場（代表取締役社長 前田 伸）は、千葉県警察の活動に協力し、交通安全意識の高揚を図るため、「飲酒運転根絶宣言」を行いました。

近年、全国的に交通事故の発生件数、死傷者数ともに減少傾向にあるなかで、千葉県では今年に入り交通事故の発生件数、死傷者数ともに増加し、前年を上回って推移しています。また、6月に八街市で発生した児童5名が死傷する悲惨な事故のあとも、県内では飲酒運転で検挙されるドライバーがあとを絶ちません。

当社では、社員一人ひとりが「飲酒運転は絶対にしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転の根絶と安全で安心できる社会の実現に向けて、職場や家庭において行動してまいります。

【飲酒運転根絶宣言の内容】

飲酒運転は、死亡事故などの重大事故に直結する大変危険な行為であり、人の命を奪い、人の人生を一瞬で変えてしまうなど、取り返しのつかない結果につながります。

私たちは、命の尊さと交通事故の悲惨さ、飲酒運転の危険性を深く認識するとともに、「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持って、社会から飲酒運転がなくなるよう、職場や家庭において行動することをここに宣言します。

- ・お酒を飲んだら絶対に運転しません。
- ・飲酒運転をするおそれのある人に車を貸しません。
- ・運転する人にお酒を提供しません。
- ・運転する人にお酒を勧めません。
- ・飲酒運転の車には同乗しません。
- ・交通ルールを守り、安全運転に努めます。

【宣言日】

2021年8月11日（水）



左から 富津警察署 住吉和哉署長
当社取締役常務執行役員総支配人 石井智信
マーモママ

以上